

海外安全対策情報（2020年1月～3月）

1 社会・治安情勢

(1) テロ等の傾向

ア パキスタンのテロ発生件数は、パキスタン軍等によるテロリスト掃討作戦により、2009年をピークに減少傾向にあるものの、北西部及び南西部を中心に発生しており、引き続き警戒を要する。テロ発生件数は前の期（2019年10月～12月期）と同数（41件→41件）であったが、死者は4名増加（53名→57名）、負傷者は38名増加（81名→119名）した。（当地シンクタンク「パキスタン平和研究所（PIPS）」調べ。）

また、2017年2月から開始されている軍及び治安機関等による対テロ作戦（ラッドウル・ファサード（Radd-ul-Fasaad・脅威の除去））は引き続き国内各地で実施されており、テロリストの検挙、武器等の押収等一定の成果を収めている。今期においても、単独又は少数犯による自爆、襲撃及び簡易爆弾（IED）攻撃が主要なテロの手段として見られ、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設への攻撃を企図する勢力もある。

1月14日午後8時頃、KP州ペシャワール市内カルカーノ・マーケット（Karkhano Bazar）付近の警察検問所を狙ったIED爆発テロ事件が発生、道路脇に設置されたIEDが爆発し、警察官2人を含む10人が負傷、パキスタン・タリバーン運動（TTP）分派であるヒズフル・アハラール（HUA）の犯行とみられる。

そのほか、12月16日、KP州ペシャワール高裁直近の道路上において、オートリキシャーに仕掛けられたIEDが爆発し、少なくとも11名が負傷。警察テロ対策局による捜査の結果、アフガニスタン国籍の被疑者1名が逮捕された。同人は、アフガニスタンに潜伏するTTP司令官の命令により、本件犯行に及んだ旨供述している。

イ 旧連邦直轄部族地域（FATA）を含むKP州においては、1月26日、KP州バジョール部族郡 Salarzai 郡 Darra 地域において、治安部隊と警察が合同で掃討作戦を実行していたところ、2件の爆発が連続して発生し、警察官1名が死亡、兵士2名が負傷。TTPが2件に関して犯行声明を出した。同27日朝、武装勢力が、KP州DIカーンから約20キロメートルの場所にある Khatti 警察検問所に対し、ロケット弾及び手榴弾で攻撃。死傷者はなく、犯行後現場から逃走した犯人は未だ逮捕されていない。

2月1日、KP州北ワジリスタン部族郡ミラーリにおいて、車両の中に仕掛けられた爆発物が爆発し、運転手の民間人1名が死亡。犯行声明は発出されていない。同2日夜、KP州バジョール部族郡 Salarzai 郡 (tehsil) Batwar 村において、爆発物が爆発し、一家7名が死亡。ミリタントらによってアフガニスタン・クナル県から発射された迫撃砲が、家屋を直撃したとみられて

いる。

3月18日夜、K P州オラクザイ部族郡 Arghunja 地域における警察署が、武装勢力によって攻撃され、警官2名が殉職。同28日、K P州北ワジリス タン部族郡ミラーリ郡 (tehsil) において、定期巡回中だった治安部隊の車 列付近で遠隔操作によって爆弾が爆発し、軍高官2名が負傷。また同日、同 部族郡ミランシャーのラズマックにおいて、少年が地雷を踏み負傷する事案 が発生した。

また、都市部や地方別に関わらず、治安当局によるテロリストの拘束事件 及び武器・弾薬等の押収事件も多く確認された。こうした状況から、治安当 局による徹底した取締りが行われた一方、都市部においてもテロの脅威は存 在している。

(2) 各種デモ

ア 当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による政府機関に対する労働環境 改善要求等の抗議活動が行われる傾向にある。

昨年8月、インド政府が憲法を修正して、ジャンムー・カシミール州に 関する特別条項を廃止したことに抗議し、「カシミールへの連帯」を標榜 して、全国各地でデモが繰り返された。パキスタン政府は、毎週金曜日を 「カシミールへの連帯の日」として、国民に対して抗議の姿勢を示すよう 呼びかけており、大規模な官製デモに発展することもある。

イ 1月10日から19日にかけて、イスラマバード市内において、イラン革 命防衛隊司令官殺害に対する米国への抗議集会を実施され、シーア派系宗教 団体及び神学生が複数の宗教団体及び市民活動家等がデモを行った。

治安部隊等との大規模な衝突は確認されなかったものの、市内では主要幹 線道路の大規模な交通規制が行われたため、交通渋滞等の影響が生じた。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 邦人被害事案

なし。

(2) 銃器使用犯罪

本期間においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、 特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が 高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵 入強盗事件が散発的に発生している。

1月7日午後9時頃、ラーワルピンディー市内メトロバスのサダル (Saddar) 駅周辺路上（当館から南東に約6.6 km）において、通行人に対するひった くり事件が発生し、犯人とパトロール中の警察官と銃撃戦となり、警察官2人 が死亡する等の銃撃事件が発生した。

12月13日には、イスラマバード市内に所在する国際イスラム大学新キャン パス内で、学生グループ同士のトラブルにより、一方のグループが拳銃を発

砲し1名が死亡，13名が負傷する事件が発生した。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの，違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず，違法銃器の蔓延が問題となっている。

(3) 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバードは富裕層が多く居住しており，各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが，これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に荷担する事件が時折発生している。2017年9月には，ラーワルピンディー市内において，中国人が帰宅途中に金品を強奪され，警察による捜査の結果，同人の元運転手が事件を手引きしていたことが判明した。2020年1月，イスラマバード市内において，雇用主の留守中にドライバーが700万ルピー相当の金品を盗み，その事実を隠ぺいするため留守宅を放火するという事件も発生した。また，当地警察は，ガス，電気会社の職員を装った強盗が，家主の不在間に機器の点検目的を装い家屋に進入し，金品を盗む事件が増加傾向にあるとの注意喚起を出しているため，在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか，使用人，警備員等への指導を徹底する必要がある。

(4) 名誉殺人

当国では地方を中心に，親が認めない相手との交際などで，家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される名誉殺人が跡を絶たない。今なお保守的なパキスタン社会では，毎年数百人の女性が名誉殺人の犠牲になっており，今期も凄惨な殺害事件が発生している。

(5) 性犯罪及び虐待

当地では，強姦を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され，その発生件数は多いと言える。同種事件の被害者は，二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことも少なくなく，被害実態は正確に把握できない。

(6) その他

本期間においても連日，不法な銃器・爆発物・薬物・酒類の押収事案が報じられた。これらの事案は，厳重な警戒下にあるイスラマバード市内においても，テロ発生の可能性は依然として排除できないことを示している。

当地の空港で勤務する連邦捜査局（F I A）職員3名が，旅客のパスポートやID等の個人情報を闇市場で2,000～3,000ルピーほどで売買していたことが判明した。盗用された個人情報は携帯電話番号の違法登録に利用されたとみられる。

3 2019年4月から2020年3月までのテロ事件発生状況

4月	23件，死者	54名，負傷者	97名
5月	18件，死者	49名，負傷者	87名
6月	25件，死者	33名，負傷者	55名
7月	20件，死者	38名，負傷者	111名
8月	21件，死者	31名，負傷者	83名

9月	12件, 死者	19名, 負傷者	27名
10月	10件, 死者	10名, 負傷者	19名
11月	17件, 死者	27名, 負傷者	38名
12月	14件, 死者	16名, 負傷者	24名
2020年			
1月	21件, 死者	33名, 負傷者	60名
2月	10件, 死者	20名, 負傷者	35名
3月	10件, 死者	4名, 負傷者	24名

(出典：パキスタン平和研究所)

4 安全を考える上で参考となる事件等（報道ベース）

- 1月7日午後9時頃, ラールピンディー市内メトロバスのサダル(Saddar) 駅周辺路上(当館から南東に約6.6km)において, 通行人に対するひったくり事件が発生し, パトロール中の警察官と銃撃戦となり, 警察官2人が死亡する等の銃撃事件が発生した。
- 1月8日, KP州ラッキー・マルワトにおいて, 何者かの銃撃により, 辺境警備隊(FC) 隊員1人が死亡。
- 1月14日午後8時頃, KP州ペシャワール市内カルカーノ・マーケット(Karkhano Bazar) 付近の警察検問所を狙ったIED爆発テロ事件が発生, 道路脇に設置されたIEDが爆発し, 警察官2人を含む10人が負傷, TTP分派であるヒズフル・アハラル(HuA) の犯行とみられる。
- 1月27日朝, 武装勢力が, KP州DIカーンから約20キロメートルの場所にあるKhatti 警察検問所に対し, ロケット弾及び手榴弾で攻撃。死傷者はなく, 犯行後現場から逃走した犯人は未だ逮捕されていない。
- 1月27日夜, KP州ラッキー・マルワトPaharkhel Pakka 村において, 警察と犯罪組織の間で銃撃戦が発生し, ギャング3名及び民間人1人が死亡, 警察官2名が負傷。
- 1月29日, KP州スワビRazaar 郡(tehsil) において, ポリオ予防接種ワーカー2名が, 何者かに射殺された。犯人らは, モーターバイクに乗って現場から逃走。
- 1月30日, KP州ローワー・ディールのティメルガラMaidan 地区において, 玩具の形をした爆弾が爆発し, 子供3名が負傷。
- 2月1日, KP州北ワジリスタン部族郡ミラーリにおいて, 車両の中に仕掛けられた爆発物が爆発し, 運転手の民間人1人が死亡。
- 2月2日夜, KP州バジョール部族郡Salarzai 郡(tehsil) Batwar 村において, 爆発物が爆発し, 一家7名が死亡。ミリタントらによってアフガニスタン・クナル県から発射された迫撃砲が, 家屋を直撃したとみられている。
- 2月10日, 2名の神学校生徒が, KP州コハートにて何者かにより銃殺される。

- 2月18日、KP州DIカーンMadi地域において、遠隔操作で爆発したIEDにより、ポリオ予防接種の警備にあっていた警察官1名が死亡、2名が負傷。犯行声明は出ていない。
- 2月21日夜、KP州ペシャワールZagi Ghar地域において、警察及びテロ対策局が合同作戦を実行し、自爆犯1名を含むテロリスト5名が殺害された。同人らからは、自爆ジャケット3着、ピストル及び手榴弾等が押収された。22日、警察は、同人らがアフガニスタンから同州ハイバル部族郡を經由してペシャワールに入り、ペシャワール、モーマンド部族郡等においてテロ攻撃を計画していたと明らかにした。
- 2月23日、KP州南ワジリスタン部族郡において、バイクに乗った武装犯の銃撃により、少なくとも部族の長老2名が死亡。
- 2月24日早朝、KP州バジョール部族郡Khar郡 (tehsil) Sheikh Meno地域において、何者かがロケットで民家を攻撃し、境界壁を破壊。死傷者は報告されていない。
- 3月18日夜、KP州オラクザイ部族郡Arghunja地域における警察署が、武装犯によって攻撃され、警官2名が殉職。
- 3月28日、KP州北ワジリスタン部族郡ミラーリ郡 (tehsil) において、定期巡回中だった治安部隊の車列付近で遠隔操作による爆発が発生し、軍高官2名が負傷。また同日、同部族郡ミランシャーのラズマックにおいて、少年が地雷を踏み負傷。
- 3月29日夜、KP州北ワジリスタン部族郡ミラーリにおいて、巡回中だった警察車両付近で遠隔操作爆弾が爆発し、警察官1名が重傷を負った。

5 誘拐・脅迫事件発生情報

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件が頻繁に発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースの他、一般犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な労力・時間を要すると共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。今期も、2020年3月、イスラマバード市内G-9において、路上でバスを待っていた女性が武装した2名の男性に誘拐され、車内で複数の男性から性的暴行を受ける事件が発生した。女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

これまでのところ、邦人及び日系企業に対する脅威情報には接していないものの、2017年5月にはクエッタにおいて中国人の誘拐・殺害事件が発生したほか、同年7月にも、カラチ市内の幹線道路において中国人技術者を対象とした爆

発事件が発生するなど、外国人が、事件に巻き込まれるケースも発生している。

活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報をせず）入域した場合には、現地治安当局による安全対策がなされないばかりか、速やかな退去を命ぜられ、また犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続きを行うことが必要である。なお、手続きを行ったにもかかわらず、政府からの入域許可が得られない場合には、安全上の問題が生じる可能性があるため、当該地域への入域は控えることが望ましい。

(以上)